

審神者
HANABANA MUSUBI
花火



DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

鶴丸国永×女審神者
series no.10

ながい

ながい間

きみを待っていた



…先日の
本丸襲撃戦では

みんな一振りも
欠けることなく
本当によく持ちこたえて
くれました

大事な時に
意識がなかったこと
誠に申し訳ありません

今回の作戦により
敵の解析が進み
今後更に難しい任務が
増えることでしょう

…それでも

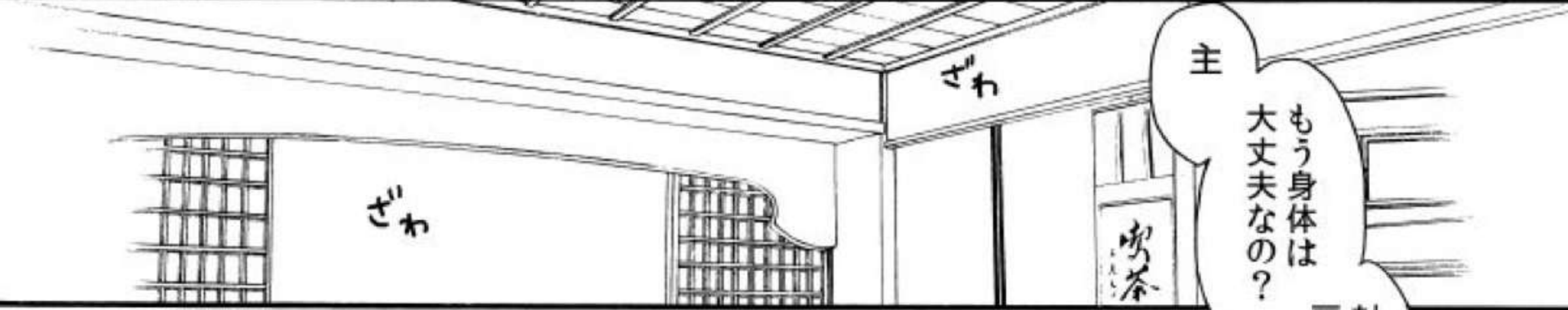
やはりみんなには
勝って
生き残って欲しい

私も猛省し精進し
全力を尽くします

これからも共に
戦って下さい



応!



主
もう身体は
大丈夫なの？

封されてた力が
戻ったんでしょ



みんな
厳しいですね...

あはは



私の力が高まれば
もっと役に立てる
かもしれないし
色々試してみないと...

おいおい大将
意気込みすぎるなよ



そうそう
主は張り切ると
根詰めすぎるからね

二ほ



はい
それが不思議と
違和感がないんです
なくした時も
小さい頃だったので
記憶になかった
ですし...



鶴丸国永

…みんなに

もうひとつ
報告が
あるのですが



…前々から

鶴丸とのことは
みんなに話して
ありましたが

このたび
結婚の
約束をしました



個人的な事ですが

でもみんなにも
関わりがある事ですし

それに

言って
おきたくて…





今日は宴会だね
こりやく

主様の婚姻に
祝福を！

…ついに！

おめでとう
ございます
主君！
鶴丸さん！

わ



まだって
なんなんだ
きみたちは…

…むしろ
まだ約束して
なかったの？
鶴丸さん
何やってたの



……
そりゃあ？

…いや驚いた
どやされて
殴られるくらいは
覚悟してたんだが

だって前に
恋仲だって言ってくれた
時もさあ
何を今更って
感じだったしね
知らないのは
長谷部くらいじゃ
ありませんかね
何を…！
知ってた
外では
態度に出さないように
してたみただけど
だだ漏れだったしねえ



私たちは
ふたりの仲まいを
一応ずっと
見てきたからね

君なら…

まあ
仕方ないかな



やっぱり主は
みんなの主だし

ちよつとは
ずるいと
思うけど



だが
不幸にしたら斬る

割と過激派



だが



「あなたは」

「何を知って
どうしてこのひとを
望むんですか」



おめでとう…

ありがとう
小夜！

主はそれでいいのか？

こちら側と契るといふ事は

現世を捨てることだ云うことだ

魂は常世に縛られもう戻れなくなるだろう



…はい

それがいいんです





主

鶴丸さん

おめでとう



……
この結婚に
異議を唱えたい
刀はいるか？

いるなら
この場で
言って欲しい

……
いない
ようだな

そうでなければ
この契りは
俺たちの総意とする



主

そして
鶴丸国永

この結婚を
祝福しよう

我ら一同



……
ありがとう



いずれ主の
夫となるが

俺は

この先も
本丸での立場は
ただの一臣下だ

それは
変わらない

みんな

これからも
よろしく頼む

ありがとう

えっ?!

ああそれなら
折を見て
ゆっく…

祝言は
いつにするんだ?

…それで

ストップザ
こんのすけ

待ちなさい
その式こちらで
取り仕切りますよ

意思確認まで
黙ってました!

たーいしょ

薬研…

なんか
大変そうだな

それ
上からの書類か？

結婚のことで
ちよつと行政側が
揉めてて…

まあいきなり刀剣男士と
結婚すると言ったら
上としたら
そうなりますよね

皆に言ってから
上に報告と
思ったら
筒抜けでしたし…

いざとなったら
強行突破しちまえよ

薬研ったら

でも
そんな気分
ですよ

役目は降りないけど
鶴丸とも離れません

言うじゃねえか
大将

安心したぜ



それで？
式は
できるのか？

あ
はい

総本山からは
その約束を
違えない為にももう
結ぶと良いと…

鶴丸は鶴丸で
私の白無垢を
すでに頼んで
あったとかで…

鶴丸の旦那相当
待ちきれなかった
んだな

十日後に
することに
なりました

式は折を見てと
思っていたから
寝耳に水と
いうか…

はいほう
が
いいぜ

※行政…政府側
※総本山…
審神者統括



ねえ薬研
前あなたに
色々相談
したでしよう？

実はあれでちよつと
覚悟
決まったんですよ

大将

話がある



…薬研
行くのか

いち兄か
ああ行ってくる
慌ただしい時に
留守にしてすまねえが
みんないる

大丈夫だろ

「式までには必ず帰る」

「だから大将」

「俺を修行に
行かせてくれ」

「先の戦で実感した
俺は大将を守るためには
まだ力不足だ」

…私ね

いつも薬研に
頼ってばかり
なんです

「大将の門出に立ち会うため
俺は強い俺でいたい」

俺が帰るまで
ちったあマシな顔に
なってるよ

一期一振



初期を考えると
いいことです

貴方も
強くなりなさい

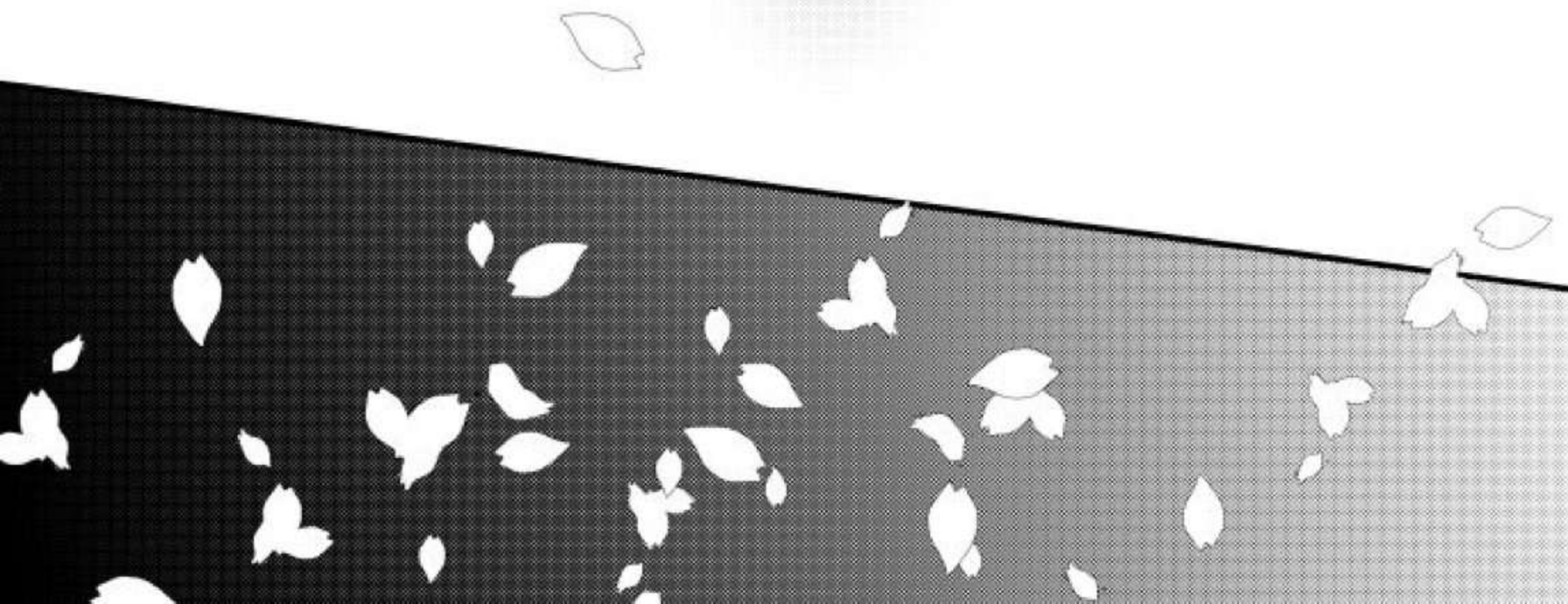
あの忠臣が
更に強くなろうと
してるのですから



…はい

また後押しを
されちゃいました

いつてらっしゃい
薬研



待たせたな
皆の衆!

貞ちゃん!
会いた
かったよ!

わっ
みつちゃん!

伽羅も先に
来てたなんて
な!

皆と
こんな風に会えて
嬉しいぜ!

燭台切

大俱利伽羅も

俺が噂の
貞ちゃんだ!

太鼓鐘を
案内してあげて
下さいね

オーケー主

はい



…いやー
びっくりしたなー
目が覚めたらいきなり
鶴さんが結婚するって
言うだろ？

しかも主と

意味分からねえって

貞ちゃんに
とっては
そうだよ

みっちちゃんは
さつきから
何してるんだ？

ああ

披露宴の
メニュー案をね！

貞ちゃんは
和懐石とフレンチ
どっちがいい？

楽しそうだな
みっちちゃん

なんか
疲れてるね？

そりやあな
光坊

衣装合わせだの
打ち合わせだの

…まあそれは
良いんだが

はは…

貞坊を驚かせ
られたなら本望だ

おかえり
鶴さん

式までは
主と逢引き
禁止だよ…

禊とか
なんとか

あれ絶対
こんのすけの
嫌がらせだぜ

薬研が修行に出て
心配してる
だろうに…

おつかれさま



いいじゃない
式の後と同じ部屋に
なるんでしょ？

それとこれとは
話が別なんだ

はいはい

それにしても
薬研くんか…

一期くんも
あれから
元気ないけど

薬研くんのことも
心配してるよね
きつと

一期なあ…



あいつも
ちよつと気に
なるんだよなあ

それに一期が言うには
かの兄君は主を俺に
連れて行かれることを
危惧してたらしいが



きつと今頃
苦々しく思っ
てるんだろなあ

生きた証すら
貰い受けるんだ
仕方ない事だが

…うん



やっぱり
一期も気になるから
出掛けてくるか!

もー
それ口実でしょ

.....
どうしたの
貞ちゃん?
光坊にでも聞い...

あーいや...

鶴さんてお...

貞坊すまんな
分からない
話をして

いや
いいけど

光坊にでも
聞いてくれ

.....
主



このような夜更けに
申し訳ない

少し
宜しいですか

…一期?

大丈夫ですよ

…ありがとうございます
ございます



お茶でも飲んで
行きますか?

丁度一期と
兄のこと話したいと
思っていたんです

本丸再建や
後処理で忙しくて
なかなか時間が…

…いいえ
私が心の整理が
つかなかっただけです
ごめんなさい…



兄君は本望で
あったでしょう

結果として
主を守ることが
できた

…知っていましたか

彼は国防に
命を懸けていた

それと同時に

貴方を本当に
守りたかったのです

…はい

一期も本当に…

祝いの前の

このような時に
申すことではないのは
百も承知

ですが主
たつての
願いがあります

私を
刀解して下さい

「少し揉めました
許可がおりたのは
主様の今の力では
確かに現世は生き辛くも
ありますからね」

「人道的に
どうかというより
もはやそれが自然だと」

どうしてきみは
あの後

あの江戸の後

ずっと長い間
現れては
くれなかつたのだろう

それだけがいまだに
分からない

…一期

何を言っているのか
分かってるん
ですか

このようなこと
世迷言では
言えますまい

本気です主



刀解して下さい

先の戦いで私は
使命を果たせませんでした

主をお守り
することも

兄君を
止めることも

なにひとつ
できませんでした

もはや私の役目は
ありません

…なんだなんだ

まさか…





お断りします

主…っ

一期一振

あなたは今
誰の刀ですか

あなたは

私の刀です



それがたとえ
兄様の意志
だったとしても

今は
私の刀です

私は誰一人
失いたくない
我儘な主です

刀解は
許しません



…っ
ですが

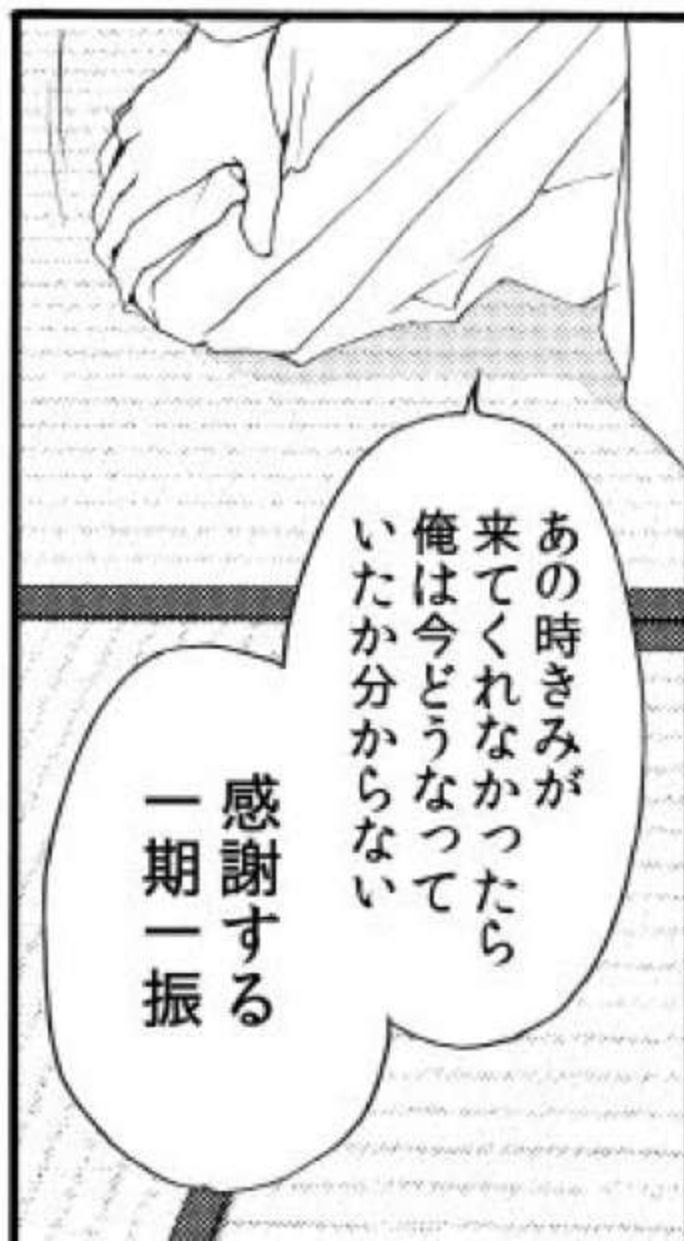
邪魔するぜ



先の戦いで
きみに
言ったよなあ？



俺は一度きみを
殴って
みたかったんだ



あのとききみが
来てくれなかったら
俺は今どうなっ
ていたか分からない


感謝する
一期一振



…っ
鶴丸いきなり何を

きみには
叱られたからなあ

あいこだろ



きみの使命感には
頭が下がる

なあ
だから
こんなもんじゃ
ないだろう

きみは



……

……はは
まったく……

鶴丸国永
貴方はいつも
勝手な事
ばかり……

きつと私をも
救って下さった

……主

あの方は

共に
果てることを
今剣に託し

私はここに残れと
そう言われた
気がしました

絶望しました

でも

同時に
これからも貴方に
仕えられることを
喜びましたのです

あさはかです

自分が
許せなかった

このような私で
よいのですか

私はあなたが
いいんです

一期一振

あなたが
兄と私のために
してくれたことを
忘れません

…いつかの
お返しです

もっと自由よくばりに
なって下さい





……
なんか悪かったな
割って入って



いいえ……
助かりました



……大丈夫
大丈夫です

分かっています



……御意に

ぶれません

私はみんなの
主ですから

……
うん

一期も
分かり辛い奴
だからなあ

だが

あいつも何か
許されたかったの
かもしれないな

今きみが
そうしたように

……はい

……でも

夜の逢瀬は
あんまりして
欲しくないなあ

ところで鶴丸は
どうしてここに？

あ……
それはな
きみに
会いたくて……

鶴丸……

きみが

私ね
もう何も迷いは
ないんですよ



俺のものになるまで
あと少しだが

色々不安に
思っていないか

心配だったんだ

返事をくれるまで
長かったのにな…



もう
終わったことじゃ
ないですか！
心の準備が
必要だったんです！

気が気じゃ
なかったんだぜ
ふられたら
どうしよう
かと

もう…





はい
ストップ

帰りなさい
鶴丸国永



るいっ



式まで
逢引き禁止だと
言ったでしょう
我慢しなさい

おま……っ

俺を
主不足に
させる気か……!

なあ

何故きみは

まったく……

さあ主様今日も
始めますよ

すみません……

再び俺に
出会うまで

こんなにも
時を重ねたんだ?!



……

……と
いうわけで

大事なことを
お伝え
し忘れていました

先の本丸での記憶を
全て託されている
私ですが

兄君より
大事なものを
預かっていたのです

必要な時に使えと
仰っておいででしたが
今がその時でしょう



兄君の
貯金の口座番号と
認証コードです

聞けば鶴丸殿は
白無垢ばかりに
気を取られ打掛の事は
忘れていている様子
主の花嫁衣裳は
実家筋である
兄君のお金で
ご用意しましょう



…ぱ

ばわーあつぷ
しろと
誰が言った…
ていうかなんで
きみの趣味なんだ?!



兄様に
貯金ですか…

三国一の花嫁姿に
してさしあげます!

安心して下さい
主!

…えっ
なんですか
このゼロ…っ



お色直しは
カラードレスも
いいよね

きみたちも
なあ…っ
お祝いは…



そう
言われちゃあなあ

それが兄君からの
はなむけと思って
いただきたい

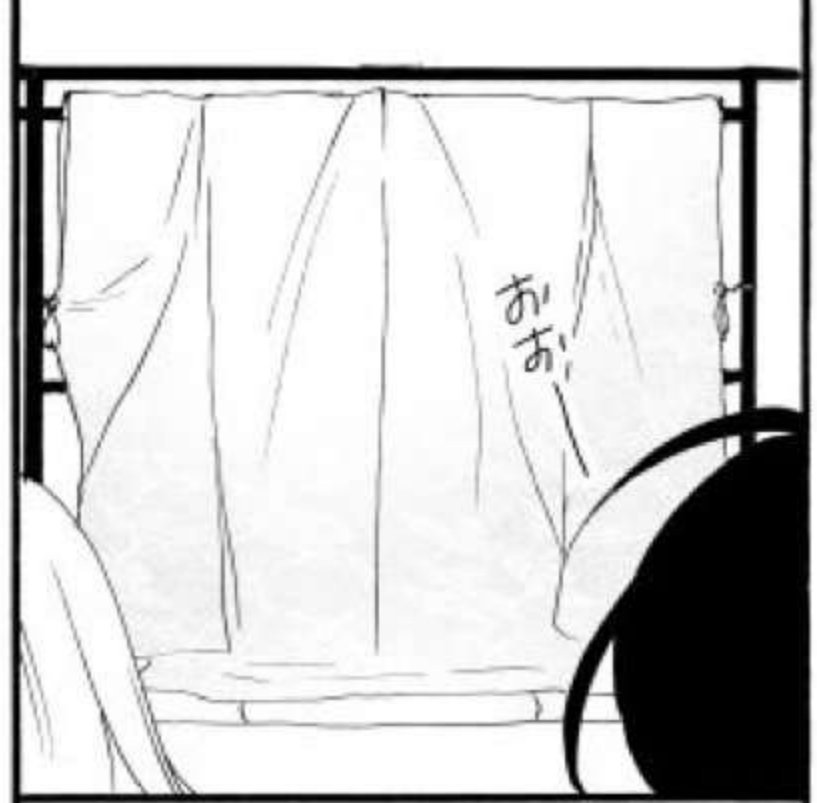
だが白無垢だけは
譲らんぞ
絶対にだ

ボクあるじさんの
ウエディングドレス姿
見たーい

きみたちなあ...



主の懐争奪
短刀会議



祝言当日

ねー薬研は？

いやまだ...



似合ってるね
鶴さん

髪もそうして
正解じゃないかな



そうか？

まあきみに
任せたらだから
大丈夫だろう…

しかしなんか
あれだな

あれよあれよと
いう間に当日に
なっちまうもんだな



結局主とも
ゆっくりり話も
できなかつたぜ

今まで散々
話してきた
だろうが…

か
しし
伽羅坊きみまで



……
みんな
誰かの物になる前の
主と話したいんだから

欲張らないの

それとも何か
不安がある？



……
や

もう何も
迷わない

散々悩んだからな

これ以上はないさ

…当たり前ですよ

準備の間貴方が
一つでも揺らいだら
無理にでも無効にする
つもりだったのに

貴方が
できることは
唯一つ

禊と称し主様に
人の子が常世に行く
その恐ろしさを
説いてきました

死ねもしない

貴方が思うより
きつと人の子には
重すぎる

だけど主様は
微笑んで
言うのです

鶴丸国永
貴方と共になら
怖くないと

そしてこれは
この本丸の
皆々様の望み

揺るがず
主様を愛し
守り抜くことです

それが我ら
審神者総本山の
望み

承知した

…まあ鶴さん
散々待ったもんな

それこそ
鎌倉からだろ？
長いよな

そうそ…

ん？
貞坊それ
誰に聞いた？

鶴さん
忘れちゃってん
のか？

仙台にいた頃
一度だけ話して
くれたじや
ねえか

生まれ変わっては
会いに来てくれる
待ち人がいるって

…それは

結婚って聞いて
もうそれは
いいのかって
思ったんだけど

見てたら
なんかすぐ
分かった

俺が

それって
主のことだったん
だなってさ

「忘れようとする」
少し前だ

鶴さんあんまり
自分の事話さねえから
俺も覚えてたんだな
きつと

もとより
そのつもりだ



まあいつか

鶴さんの
念願が叶って
嬉しいぜ!

…声を
聞いてくれて

次は見えるように
なってくれた

不思議な
もんだろ

…でも
あんまりにも
会いに来て
くれないもんで

もう嫌に
なったのかもなあ



…もし次に
会えるとしたら
鶴さんは
どうしたいんだ?

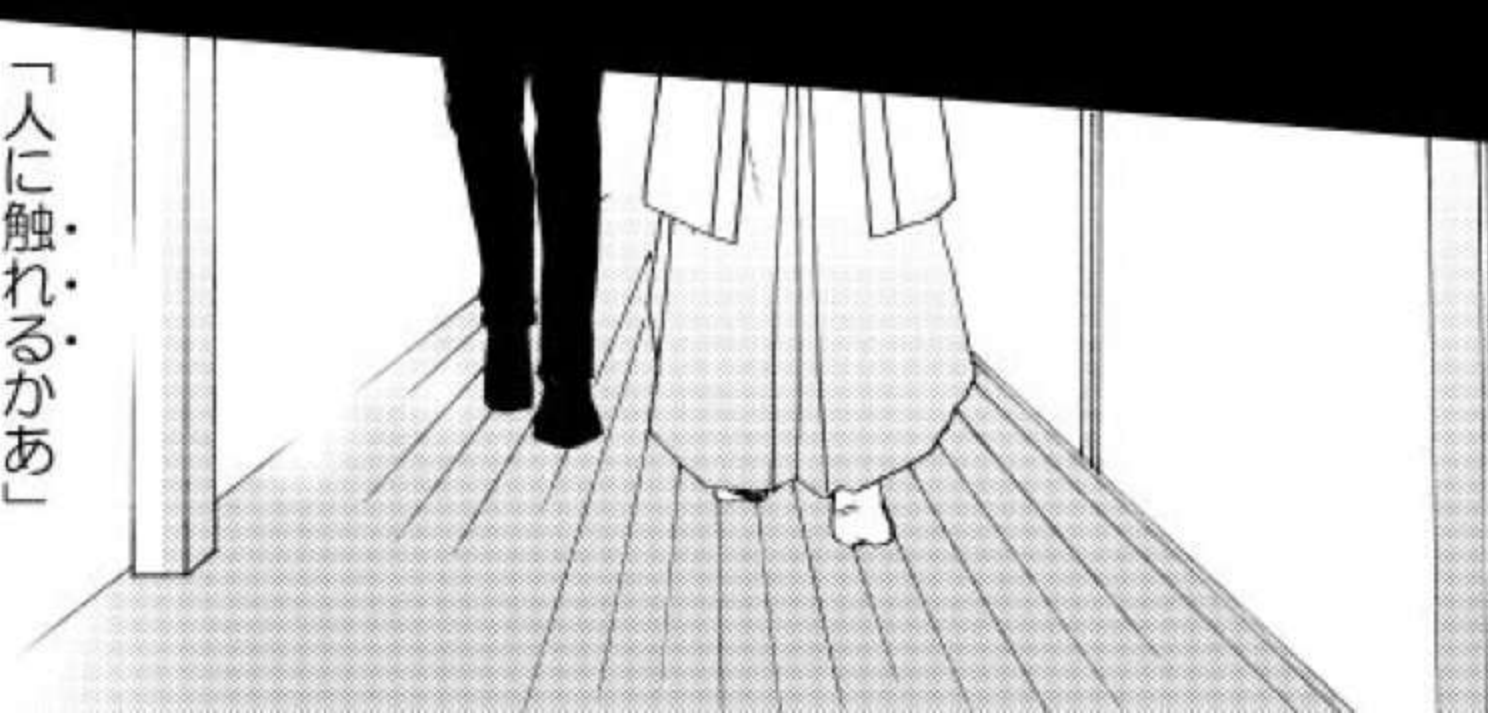


……
そうさな

「触れてみたい」

「人に触れるかあ」

「人に使われる
じゃなく」





「同じものになつてゐるんじゃないかねえか？」

「人を見てもさうじゃないよ」

「なあ鶴さん
それはもう」

今日

きみが俺のものになる



俺の花嫁よ

いつか忘れられ
朽ち果てる時まで

きみを守り
愛する



恋の戯れじゃない

魂を寄り添わせる

…何も

言葉が出ないとは
このことだなあ…



きみは
俺を驚かせる
名人らしい



いつか
人の世を離れる時

共に行けるように



…鶴丸こそ

いつも私を
驚かせてばかり…っ

消える時は

一緒ですね

ずっと



これは

奇跡なんだろう

あつ
もう
主泣かせるの
早い!

もー
お化粧崩れちやう
じやない!

待ち焦がれた

長く

長く



大将

待たせたな!

薬研!

おそーい!

もう
間に合わないかと
思った!



馬鹿言え
この晴れの日
間に合わせないはず
ないだろ

心配したんだから
あるじさんだって……!

……うん
三国一の
花嫁姿だな

大将

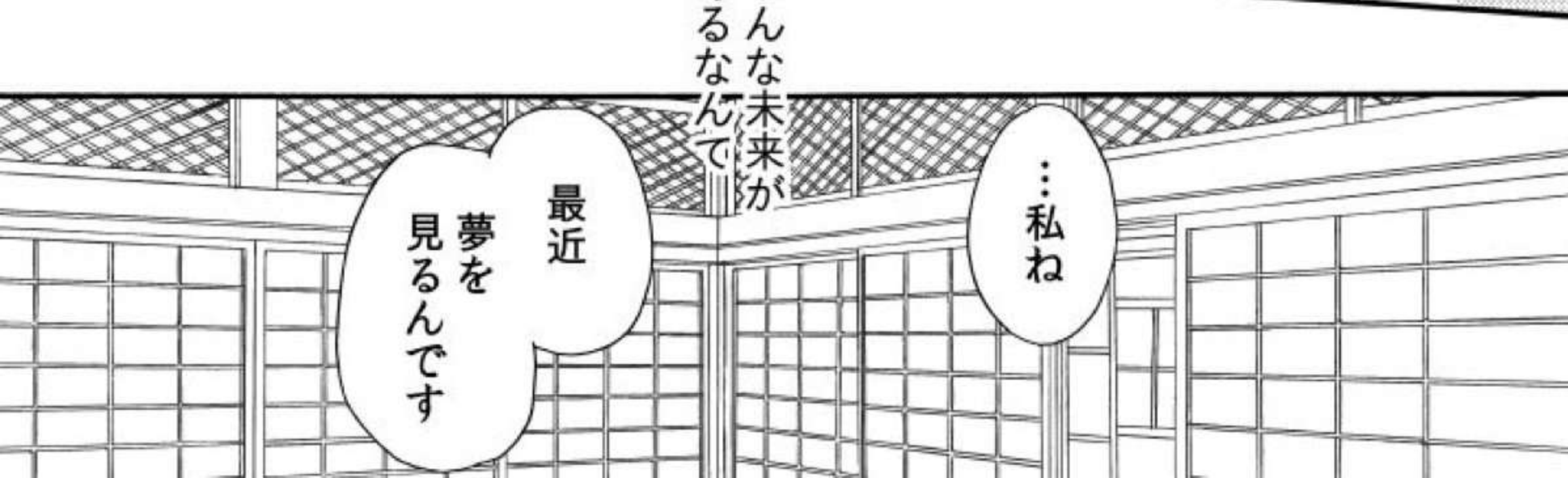


あの日

みんな
今日の懐剣は
俺だよ!

信濃の執念に
負けた……

きみの声を聴いた時には
まさか思いもしなかった



……私ね

最近

夢を
見るんです

こんな未来が
あるなんて

夢？

いつも違う時の
あなたと出会うの

…といつても
声しか
聞こえないん
ですけど

分かるんです
あれは鶴丸の声

…きみ

それは

私が

昔

どんな人間
だったかは
知りません

違うもの

同じ私で

でも
いつもあなたに
惹かれていた

ひとつ前の私は
人でなくなることを
望んで

望んで時間がかかって
そしてあなたに
触れられる私になった

過去の私に

感謝します

うれしいの

わたし

すごく

鶴丸国永

「…そっか」

「じゃあ」

「触れられた時が
きつと最後なんだろう」

ああ

わたしたち

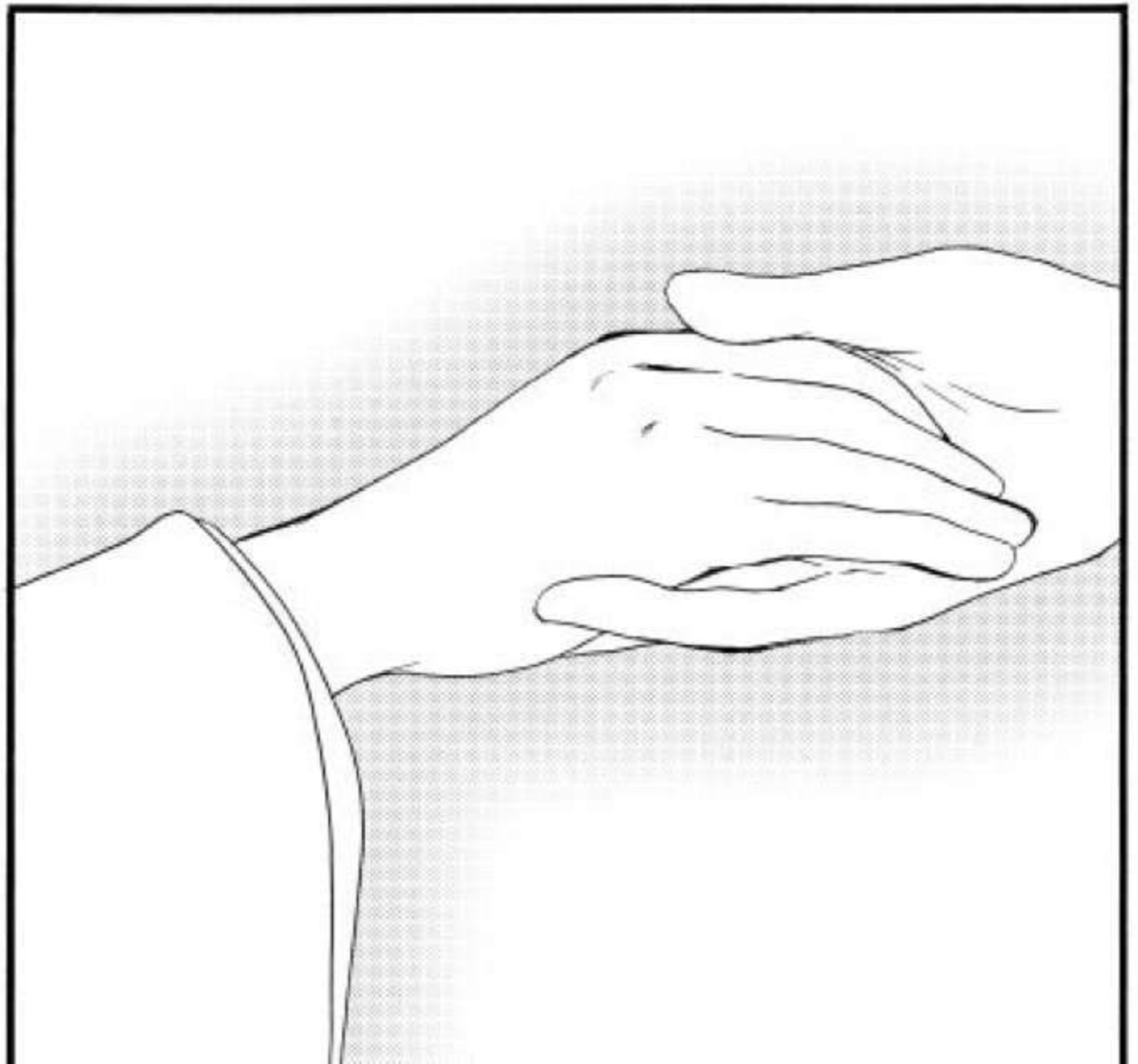
すごいですね

本当に

その通りだった



愛しのきみよ



うつつのすべてからきみをさらう

論丸国永!!

イッ

この幸福を 俺は言葉にするすべを持たない

なあ

何俺は

俺に対して
そんなに
しおらしいと
悪戯心が
湧き出てくるな

だから誓おう

俺のただひとつの星よ

呼ん

れ
調丸が
恐しい
いやで

好きな気



この鋼にかけて

きみを永久に守り愛する



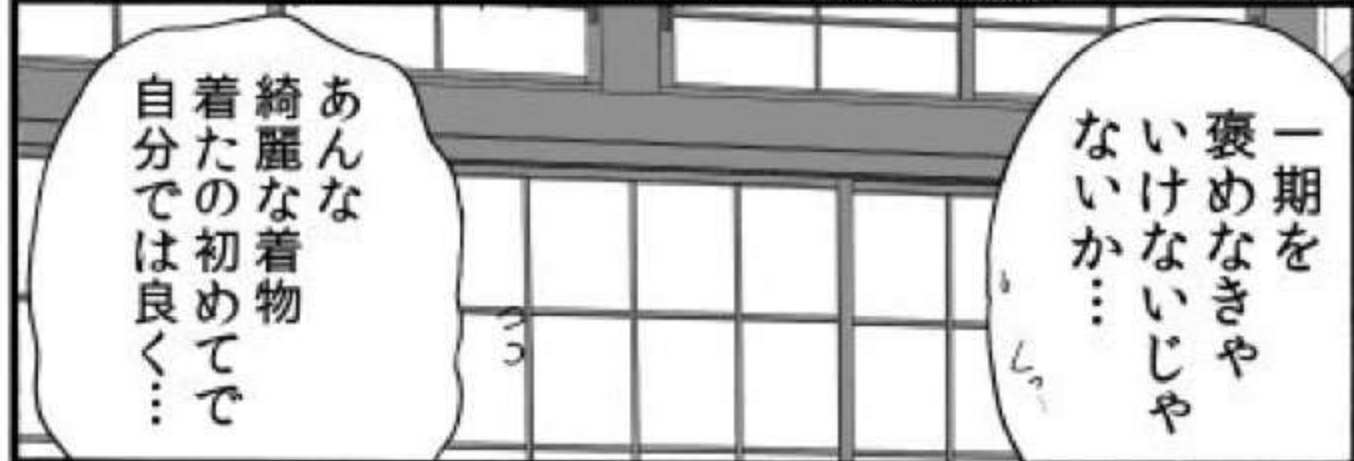
…しかし
ありや
明け方まで
飲んでるぞ



お料理も
美味し
かったです
みんなに
あんなにも
お祝いして
もらえるなんて
おめでとう
きみの打掛姿も
綺麗だったなあ



今日明日と任務を
免除してもらえて
助かりました
まさかお祝いに
お休みを
貰えるなんて



一期を
褒めなきや
いけないじゃ
ないか…
あんな
綺麗な着物
着たの初めてで
自分では良く…



いや
俺の花嫁は
きれいだった
今日のきみは
なによりもな
ど
どうも
ありがとう…



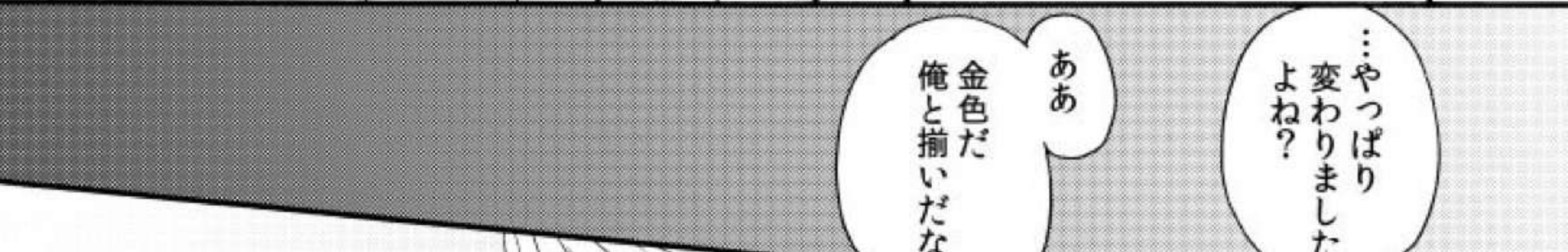
…あ

改めて
って

ちよつと
照れますね…

…なあ

きみの眼を
良く見せてくれ



…やっぱり
変わりました
よね？

ああ

金色だ
俺と揃いだな



夕日みたいなの
元の色も
好きだったけど
揃いも
いいもんだな

なんだか
実感します…



きみの
生きた証を
全て奪う
長い時間

輪廻に戻らずに
俺と漂う
それで
いいかい？



私が
人として
生きたことは
みんなが

あなたが
覚えていて
くれたら
それでいいの

…ねえ

だんなさま



あ

…俺の妻よ

きみを

よく
見せてくれ



…今の
もう一回



いやあの
待ってあの
恥ずかしいので

きゅ

むっ

……



…は
なんだか

今更
泣きそうだ



…ふふ



あっ
あっ

あ

あ

あ

1P
9/9

あ
あ

あ
あ

...

ずっと

一緒



…ねえ

陵丸

その名で
呼ばないでくれ

…そうね

鶴丸国永

かしら